

せんよを欲する艦隊に頗る好適せり然れども此港唯だに東方に開けるのみには非ず水雷艇をして朝鮮海峡の東水道に出づるを得せしむる爲め運河既に日本人に依りて掃蕩されたり是を以てカポエストウンスキーたるもの如何にするも東郷の如き用意周到なる敵に挑戦するもよくして對峙を避けるを得るを期すべからざるなり彼等し其間之を運送せんよを欲するは彼は確に東郷の主力隊に依りて攻撃さるべく彼等し夜間に之に通過せんよを欲するは東郷の水雷艇に會するも亦等しく明確なるべし彼は其何れに就くを以て可なりとすべきや充分之を計置したるべからず其上に於て彼は紙上に於ては彼を甚だしく運送なき東郷の主力と決戦を欲しんよを欲し時を測りて五月廿七日朝日山後に東郷の艦隊と接觸するに至るべきを期し遠航し來たり此時東郷何れに存したるや我等は明確に之を断定するを得るの位置にありず然れども彼はカポエストウンスキーの東郷何れの水道を擇ぶに關せず其日中に之に挑戦するを得るの位置にありたるものなるべし而してカポエストウンスキーは東水道を擇び茲に東郷は夫の有名な西印度の艦隊にロドニーのドミニカ、

グワデループ兩島の間に下ガラスに會し得たるが如く其日中に之に會するを得たり彼が襲撃の結果は戦艦するに堪たるものなりし日没前にカポエストウンスキーの艦隊は其最良なる戦艦二隻と共に沈没し他の若干隻は甚だしき損害を受けたるより回復するも僅はざりし其後は唯だ倉庫たる運走、假借なき追撃となり遂に全たる消滅、破滅に終れるなり今世界の皆共に聞かんよを欲する問題に此第一回の大打撃如何にして之に加へられたるや如何なる武器に依りて其効を奏するを得たるやと云ふにあり露國艦隊を沈め得たるもの果して砲なりしや或は又水雷艇なりしや水雷艇は斯くの如くにして唯だ一撃を以て戦艦の制中し失墜したる其名譽を奪く一否疑くよりも以上を一回戦するを得たるものなるや明確なる信すべき報復の存せざる今日我等は海軍國全體に大影響を與ふべき此重大問題に敢て挑戦を欲しんよを謀らざるべきなり若し以上の結果は如何なるものなるべしとせば日本の攻撃者をして大低地に暴出するものとすべし其結果は如何なるものなるべしとせば日本の攻撃者をして果を得せしめたるものとすべし其結果は如何なるものなるべしとせば日本の攻撃者をして推勇なりし所ならざるべからず然るに

したる所又戦艦の幾つもの艦隊に依りてはれたる所より一層強大なる力を集率にして且つ装甲完全なる戦艦の上に加へ得たるものなりとせざるべからざるなり又之に反して水雷艇は自盡に此業を行ひ戦艦を沈めしむるの計ある其如き海軍に水雷艇なるもの平時は戦艦の護衛の役を專らせしむる所なりとせば戦艦の多量に大なる効力を有するものなるべし戦艦に依りて示したるものなりとせざるべからず之を何れなりとするも土曜日午後運命を決したるものなり尙ほ東郷は公報に於て水雷艇の日没に至るまで加へられざりしを稱するを以て我等は戦艦の運送する間隙間の重なる損害を以て皆砲火の行ひ得たる所なりと爲すべきを以て可なりとすべし

現も角も土曜日午後の攻撃は其夜に於て行はるべき水雷艇に其地歩を作らざるものなるべし明確なり東郷の砲火如何なる損害を加へ得たりとするも我等は其行ひたる所主として露國軍艦の水雷艇防衛に備ふる武器を無能にするの結果を有したるものなるを信せんとするものなり昨日我等の證明したるが如く此種の武器は自ら萬處に据え付けられ自ら大部外装甲

の無能を欠けり是を以てか此種の武器は照準正確なる重砲火の下に先づ掃蕩され無能なるに至らしめらるものなるべしべからず依りて我等は露に不注意なる敵に對して東郷の設けたる露の艦隊を徹底的に掃蕩するものなるを見るを得べし土曜日の露國は朝鮮海峡東水道の中心に於て起れり對馬より算するも日本海岸より算するも其距離約等しくして各三十三餘哩なり東郷は午後申に於て早く露國艦隊の夜中水雷艇の加ふる決死隊の襲撃に堪ふべき状態にあらざるを確知したるん是れ露に彼の運送したる所なりしなり對馬に向け一片の無線電信は露で自置し居る一隊の水雷艇を直に其地に招致するを得べくして彼等は露なる水兵、機雷艇、精鋭なる武器を以て戰場に下るを得べく其機雷艇、機雷、火雷艇は二時間より以上の消耗を有せざるなり露に露艦に至りては既に接戦を以て疲弊し續々の災害に其意氣を失墜し居れり然るを尙ほ且つ此水雷艇に依りて恐るべき一夜の間一瞬も休息を許さざるも能はざりしものなり東郷の主力隊は此時比較的安寧に居るを得たり此等は射距離外にありて其避くべからざる逃命に煩悶する者に依りて間斷なく攻撃され刻々に唯だ

困頓するのみなる一獲せざる敵に依りて居れば即ち足れりとするのみ假借せざる追撃に依りて受けたる其長き苦痛と悲極なる其忍耐と如何なる旨句を以てするも之を寫すも能はず想像と雖も或は之を描くに誤るものとあるべし翌朝東郷の主力隊來たり最早や戦艦の一オンスだも有せざる露國アーメダの投降を受くるに至り露艦の初めて之に下りたるをいはい其れ或は是れなん此露艦は何れの地に於て與へられたるや前日の戰場に於てにわらず又其附近に於てならず之を去るものと約二百哩リアンコール岩の附近に於てなりし

三十一日戰事終

タイムスの日露戦争批評 (二百十五)

日本海海戦

(六月七日日本海軍攻撃隊報告)

現時に於て我等は唯だ一向に日本海大海戦に關する信用ある情報に接せんよを待つのなり此報は必然に來るべき數年の間海軍政策、造艦方針、装甲防禦、戰術、教練の上に優大なる勢力を加ふるものなり我々は始めて此海戦に關する斷論を作らんと欲するものなり此態度は須く兩交戰國の報告に依りて事實全體の我等の前に提示さるるに至るまで持續されざるべからず一片の報告又は單獨の事實を捉へて各學派擅に其説を爲さんとするが如きは不可なり我等あるは此上の討論に於て擅に事實を撓め自家の學説に借合せしむるを得而も大なる害なきよを得べし然れども海戦といふが如き劇命的問題に對しては我等また斯くの如き無用の樂に耽るも能はず苟も我等の頭腦を用ひんとする前には先づ明確なる事實の上に全然安固なる其基礎を置かざるべからざるなり

の無能を欠けり是を以てか此種の武器は照準正確なる重砲火の下に先づ掃蕩され無能なるに至らしめらるものなるべしべからず依りて我等は露に不注意なる敵に對して東郷の設けたる露の艦隊を徹底的に掃蕩するものなるを見るを得べし土曜日の露國は朝鮮海峡東水道の中心に於て起れり對馬より算するも日本海岸より算するも其距離約等しくして各三十三餘哩なり東郷は午後申に於て早く露國艦隊の夜中水雷艇の加ふる決死隊の襲撃に堪ふべき状態にあらざるを確知したるん是れ露に彼の運送したる所なりしなり對馬に向け一片の無線電信は露で自置し居る一隊の水雷艇を直に其地に招致するを得べくして彼等は露なる水兵、機雷艇、精鋭なる武器を以て戰場に下るを得べく其機雷艇、機雷、火雷艇は二時間より以上の消耗を有せざるなり露に露艦に至りては既に接戦を以て疲弊し續々の災害に其意氣を失墜し居れり然るを尙ほ且つ此水雷艇に依りて恐るべき一夜の間一瞬も休息を許さざるも能はざりしものなり東郷の主力隊は此時比較的安寧に居るを得たり此等は射距離外にありて其避くべからざる逃命に煩悶する者に依りて間斷なく攻撃され刻々に唯だ

困頓するのみなる一獲せざる敵に依りて居れば即ち足れりとするのみ假借せざる追撃に依りて受けたる其長き苦痛と悲極なる其忍耐と如何なる旨句を以てするも之を寫すも能はず想像と雖も或は之を描くに誤るものとあるべし翌朝東郷の主力隊來たり最早や戦艦の一オンスだも有せざる露國アーメダの投降を受くるに至り露艦の初めて之に下りたるをいはい其れ或は是れなん此露艦は何れの地に於て與へられたるや前日の戰場に於てにわらず又其附近に於てならず之を去るものと約二百哩リアンコール岩の附近に於てなりし

我等の明確に知れる所は、露國上有力なる露國の大艦隊五月二十七日午後、於て其敵と交戦し、戦闘追撃約四十八時間の後遂に全滅せしめられたりと云ふに、あるのみ日本の勝利よし、至良なる海軍部内の論客に依り豫想されたりとす。露國大艦隊斯くの如き短時間内に於て斯くの如く成り果つべしとは、我等の断じて豫期せしめられざる所なり。少くも事實上日本艦隊に何等の損害なく、斯くの如き結果を得らるべしとは、何人も亦之を豫期する能はず。露國の勢力は、露國の海上に於ける露國艦隊の勢力に懸せられたるものなり。今に至りて我等は、其深く重視すべからざるものなるを疑はざるを得たり。之れを要するに、我等は大規模を以てする近世海軍と露國大艦隊との實情に關して、事前に原因より結果を豫言するに堪へたる充分の經驗を有せざるなり。

露國の勢力は、露國の海上に於ける露國艦隊の勢力に懸せられたるものなり。今に至りて我等は、其深く重視すべからざるものなるを疑はざるを得たり。之れを要するに、我等は大規模を以てする近世海軍と露國大艦隊との實情に關して、事前に原因より結果を豫言するに堪へたる充分の經驗を有せざるなり。

露國の勢力は、露國の海上に於ける露國艦隊の勢力に懸せられたるものなり。今に至りて我等は、其深く重視すべからざるものなるを疑はざるを得たり。之れを要するに、我等は大規模を以てする近世海軍と露國大艦隊との實情に關して、事前に原因より結果を豫言するに堪へたる充分の經驗を有せざるなり。

露國の勢力は、露國の海上に於ける露國艦隊の勢力に懸せられたるものなり。今に至りて我等は、其深く重視すべからざるものなるを疑はざるを得たり。之れを要するに、我等は大規模を以てする近世海軍と露國大艦隊との實情に關して、事前に原因より結果を豫言するに堪へたる充分の經驗を有せざるなり。

露國の勢力は、露國の海上に於ける露國艦隊の勢力に懸せられたるものなり。今に至りて我等は、其深く重視すべからざるものなるを疑はざるを得たり。之れを要するに、我等は大規模を以てする近世海軍と露國大艦隊との實情に關して、事前に原因より結果を豫言するに堪へたる充分の經驗を有せざるなり。

露國の勢力は、露國の海上に於ける露國艦隊の勢力に懸せられたるものなり。今に至りて我等は、其深く重視すべからざるものなるを疑はざるを得たり。之れを要するに、我等は大規模を以てする近世海軍と露國大艦隊との實情に關して、事前に原因より結果を豫言するに堪へたる充分の經驗を有せざるなり。

三十一日七月二十三日

戦争批評 (二百十六)

講和の機

露國の勢力は、露國の海上に於ける露國艦隊の勢力に懸せられたるものなり。今に至りて我等は、其深く重視すべからざるものなるを疑はざるを得たり。之れを要するに、我等は大規模を以てする近世海軍と露國大艦隊との實情に關して、事前に原因より結果を豫言するに堪へたる充分の經驗を有せざるなり。

露國の勢力は、露國の海上に於ける露國艦隊の勢力に懸せられたるものなり。今に至りて我等は、其深く重視すべからざるものなるを疑はざるを得たり。之れを要するに、我等は大規模を以てする近世海軍と露國大艦隊との實情に關して、事前に原因より結果を豫言するに堪へたる充分の經驗を有せざるなり。